

日本の土砂災害対策を海外に紹介 ～マレーシア 公共事業大臣が来訪されました～

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

日本での土砂災害に対する取り組みとして、予算や体制、基準等について学ぶことを目的にマレーシアの公共事業大臣が来日されました。訪問初日に、六甲砂防事務所を訪問され、土石流対策やグリーンベルト整備事業の説明後、現地も視察いただきました。

概要

日時：平成27年3月2日(月) 11:30～13:00

場所：六甲砂防事務所、焼ヶ原えん堤 他

参加人数：視察団18名

マレーシアは東南アジアの中心に位置し、マレー半島とボルネオ島の一部から成り、現地ではスコールに起因する地すべりの発生等が大きな課題となっているそうです。

事務所の説明では、日本の土砂災害対策を六甲砂防事務所を事例として説明をしました。視察団からは、住民に対する警戒避難情報の発令体制とその周知方法などについて質問ありました。土砂災害に関する情報伝達には、国-県-市がそれぞれ役割を分担して取り組んでいることを説明すると共に、携帯電話による降雨状況閲覧システム(X-RAIN)等を紹介しました。

また、阪神・淡路大震災により発生した崩壊の対策を行った焼ヶ原えん堤や、斜面对策工事現場の現地を視察して頂きました。



挨拶をされる公共事業大臣



降雨状況閲覧システムの紹介



焼ヶ原えん堤の視察



斜面对策施工現場の視察

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL：078-851-0535

